証券コード 6405

SUZUMO REPORT

第 61 期

2020年4月1日～2021年3月31日

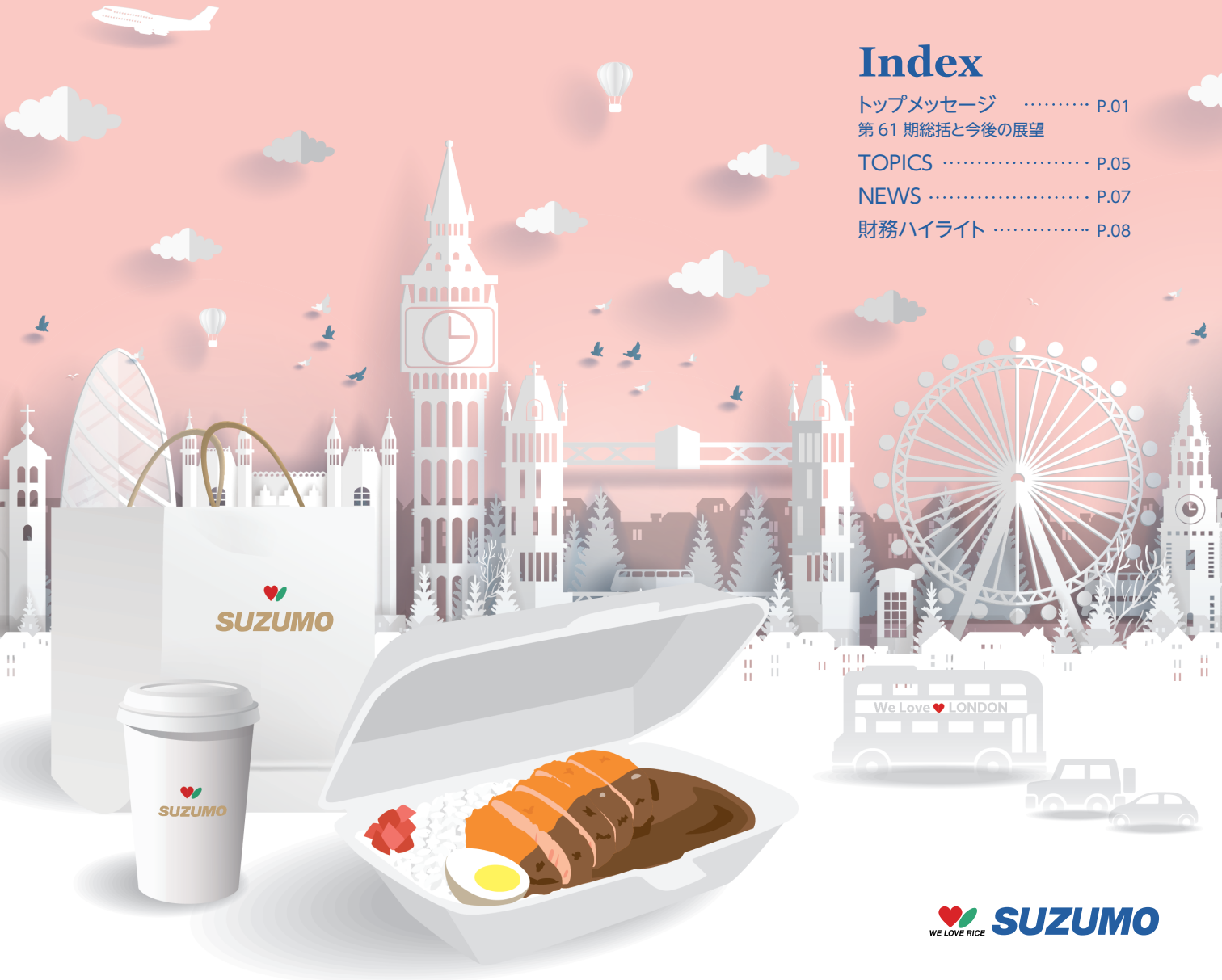
Index

トップメッセージ …… P.01
第 61 期総括と今後の展望

TOPICS …… P.05

NEWS …… P.07

財務ハイライト …… P.08



WE LOVE RICE SUZUMO

トップメッセージ

第61期総括と今後の展望

代表取締役社長　鈴木 美奈子

新型コロナウイルス感染拡大から始まった今期を振り返って

日常生活の中での様々な制限や医療の逼迫などが続き、ワクチンの接種が始まったとはいえ、新型コロナウイルス感染の終わりが見えない今、まずは一日も早い収束を願うばかりです。第61期は新型コロナウイルスの感染拡大から始まった期でありました。

特に昨年の4月から6月は先行きの見えない状況が続き、初めての緊急事態宣言も発令されるなど、当社のお客様である外食産業への影響が拡大していきました。そのような中で、上半期は、ソーシャルディスタンスや人と人との接触を避けるといった、新しい生活様式に合わせた新たなサービスや事業が創出され、生活者の価値観も大きく変化しました。

徐々に経済活動が再開された下半期は、国内外ともにこれからの経済の動きが模索され、設備投資の再開の動きが広がるなど、当社にとって光明が見えつつある事業環境となりました。

事業環境の変化に対応して過去最高の連結売上高を達成

今期は、このコロナ禍の事業環境の中で、過去最高の連結売上高を達成することができました。

国内の売上高は前期比7.7%増と、前年を大きく上回りました。厳しい事業環境ではありましたが、スーパーマーケットの

業績が伸長していく中で、機械の入替や増設の需要が増え、業績の拡大に寄与しました。また、外食産業では回転寿司業態の回復が早かったことも一因です。感染対策、メニューの工夫に加え、特にテイクアウトやデリバリーの需要が著しく増加し、寿司ロボットの増設やテイクアウトやデリバリーに対応した機械のニーズが高まりました。

海外の売上高は前期比1.8%増で、こちらも前年を上回る水準を達成しました。海外はロックダウンなど日本よりも非常に厳しい制限を行っており、海外出張へ行くことができない状況でした。そうした状況の中、海外でも、イートイン需要の代わりにテイクアウトやデリバリーの需要が大きく増加しました。特に寿司は日本食の中でも海外での認知度が高く、今までは取り扱いをしていなかった事業者が、新たにデリバリーのメニューに追加するという動きが見られました。それに呼応する形で当社の機械導入へと繋がったものと考えております。

活動の制限を受けた中、販売費及び一般管理費は昨年並みで、活動制限に伴う旅費交通費の減少、展示会を中止もしくは縮小するなど、販促費が抑えられた結果、営業利益率は9.6%と、10%近い水準まで回復を果たしました。

コロナ禍で見えた SUZUMOの存在と役割

コロナ禍の波を受けた中で改めて実感したことは、我々の事業は無くてはならないもの、社会に必要とされている事業であると肌身で感じたことです。コロナ禍の中でも、おいしさ、安心、手軽さを求められているということは変わりません。お客様や最終消費者に、安心やおいしさを感じていただける製品、サービスを見出し続けていくことが当社の役割だと考えています。今期は一昨年の11月に発表した5カ年中期経営計画「Growth2025」の1年目に当たり、コロナ禍により水を差された感がありましたが、事業環境の変化を先取りし、むしろ事業機会は広がっていくと感じております。

新たなニーズを取り込んだ 今後に向けた取り組み

コロナ禍の中で新たに生まれて来たニーズがあります。たとえば、回転寿司業態におけるテイクアウトやデリバリーのニーズの高まりがあげられます。お客様の事業形態が変化

国内海外別連結売上高（単位：百万円、%）

	2020年3月期	2021年3月期	増減率
国内	6,748	7,264	+7.7%
海外	2,182	2,221	+1.8%
合計	8,930	9,486	+6.2%

して来ている中で、テイクアウトやデリバリーを強化していく動きはますます加速しています。当社もそれに対応した機械開発と販売に力を入れており、この先いっそう引き合いが増えてくるものと感じています。
また、ご飯を盛り付ける機械「Fuwarica」のニーズも増えて来ており、食事をする方がご自身で操作をしてご飯を盛るというセルフ形式が徐々に広がって来ています。また、「Fuwarica」はフードロスにも貢献する製品で、実際にご飯の盛り付けをセルフ化したことで食べ残しが減ったという声も聞いております。今後経済活動が再開されて来ると、外食全般、あるいはホテル、ファミレス、社食や学食といったシーンでもセルフ形態のご飯盛り付けが広がって来るのではないかと考えております。

「Fuwarica」を主軸に米飯食普及への事業活動を推進

4月20・21日に、十分な感染対策と密を避ける工夫をしながら当社単独の展示会「SUZUMOフェア東京」を開催いたしました。事前予約制で人数制限を設けてのご案内だったにもかかわらず、多くのお客様にご来場いただくことができました。中でも「Fuwarica」レギュラータイプの新製品がお客様の興味を引きつけ、大いにご注目いただきました。昨年発売されたスタイリッシュかつコンパクトなモデルの大容量版で、ある程度の食数が見込まれるお客様に対応したモデルになっています。「Fuwarica」は当社の寿司ロボットに続く、あるいはそれ以上の市場規模を持った製品になると思っています。今後、様々なシチュエーションで使っていただけるようなご提案をしていきたいと考えています。また、今回のSUZUMOフェアでは海外向けの新製品「シート出し海苔巻きロボット」も発表しました。国内外ともに「おいしい」をお届けする企業として、情報の発信にも力を入れていきたいと思っております。

「創造」をテーマに新しい取り組みを進める

今後の事業成長を考えた時、新たな市場や製品を創り出していくことが重要だと考えています。そこで62期以降のテーマとして掲げるのが「創造」です。このテーマのもと、3つの切り口に分け新しい取り組みを進めてまいります。
一つ目は、「顧客創造」。ご飯の盛り付けのセルフ化を推進していく中、丼チェーン中心だったところから、ファミレス、ホテル、病院、介護施設、弁当店、社食や学食などにも販路を広げていきます。二つ目は、「市場創造」。一般のお客様に見えるオープンキッチンがスタンダードな海外において、ニーズにマッチする製品で新しいマーケット開拓をはかります。三つ目は、「新事業創造」。今回、新たな試みとして人型協働ロボットを開発・製造しているRT社とのコラボレーションを実施しました。社内においても新製品開発のプロジェクトを複数

立ち上げ、部門横断的に新製品開発を進めております。こういった新たなお客様、製品、事業を、社内のリソースだけではなく、社外の資源を活かしながら連携、成長につながる投資をしてまいります。

ガバナンスの強化をはかり
事業環境の変化に対応して事業成長へ

大きな環境変化の中では迅速で戦略的な意思決定と健全なモニタリング機能が求められます。そこで、監督と執行の役割を明確にし、迅速に業務を執行して権限の委譲をはかり、事業の運営執行を強化していくために執行役員制度を導入しました。的確で素早い意思決定とモニタリングをバランスよく調えたマネジメント体制で臨んでまいります。また同時に株主の皆様との目線、価値の共有をいっそうはかるために取締役および執行役員を対象とした譲渡制限付きの株式報酬制度も導入しました。

SUZUMOの変わらぬ姿勢
食の「おいしい」を届け続ける

食を取り巻く環境の変化は、実はコロナ禍よりも前から始まっていたと認識しています。SDGs、フードロス問題など、永続的な社会環境を考えて、いかに事業活動の中に取り込んでいくか。世の中の流れとして「食の世界」にスポットが当

たり始めた時期であり、これがコロナ禍でさらに風潮や考え方が広がって来たのではないかと感じています。
お客様に必要とされていることを実感した一年でありましたが、同時にもっと多くのお客様、ひいては最終消費者の皆様に「おいしさ、安心安全、手軽さ」を提供していかねば、という思いがいっそう強くなりました。来期以降、気持ちを新たに、変化に対応し、また変化を先取りするアクションをおこして、中期経営計画「Growth2025」達成に向けて新たなことに挑戦していきたいと考えております。

トピックス1 〈新製品情報〉海外向けシート出し海苔巻きロボット

こだわりのスタイリッシュボディに
多彩な機能を搭載
作業効率を格段にアップ

海外では寿司の中でも、海苔巻きや巻きものは人気が高く、その巻きものを作る過程で、「ご飯の厚みを均一にのばす作業が大変で、簡単に美しく均一にできないか」という海外からのニーズに応えて開発。「難しいプロセスはこの機械に任せて、手作り感は残す」というコンセプトのもと、コンパクトでシンプルな製品として発表。長さ、厚み、密度が自由に設定でき、太巻き、中巻き、細巻きの3パターンに対応。自動で連続してシートを出すこともでき、温かいご飯だけではなく、低温のご飯にも対応しており、好みに合わせて自由に設定できます。

何よりのこだわりは、スタイリッシュな外観。海をイメージしたネイビーブルーのボディカラー、フロント部分に和の伝統文様を施し、コンパクトサイズにもかかわらず従来機を上回る約10kgのご飯が投入できます。

また、衛生意識が高まるなか、液晶タッチパネルではなくタブレットで操作ができるよう、アプリを含めた開発を行っています。

トピックス3 〈開発〉人型協働ロボット

具材を正確に海苔シートの上へ置き、巻かれた海苔巻きをやさしくつかんで次の工程へ。

アールティ社の「人型協働ロボット」と
当社の「海苔巻きロボット」のコラボレーション

今回、新しい試みの一つとして、他社とのコラボレーション製品を発表いたしました。最先端のITとロボット技術を融合させた人型ロボット開発を手がけるアールティ社の人型協働ロボット

トピックス 2 〈新製品情報〉Fuwarica フルモデルチェンジ

人気のFuwaricaシリーズ ハイパフォーマンスな レギュラータイプが新登場

ホテルのビュッフェ、レストラン、カフェ、定食店など、あらゆる業態で活躍するライス盛付け機「Fuwarica」が、よりパワーアップして登場。昨年発売して大好評いただいたコンパクトタイプの大容量バージョンを発表。

厨房内使用の業務用感を払拭し、オープンキッチンやおしゃれなインテリア空間にマッチするデザインにフルモデルチェンジしました。「スピーディーかつ正確に計量されたご飯をワンタッチで盛り付ける」というFuwaricaシリーズの長所はそのままに、炊きたてふわふわのおいしさをキープする保温保湿性能、離れていてもご飯の残量が確認できるLEDランプなどの機能を搭載。また、ご飯の追加は補助ホッパーで簡単に補充することができ、パーツの取り外しも容易なので、洗浄メンテナンスも手間入らず。
テスト導入いただいた店舗では、一般のお客様にも好評で、セルフでご飯を盛り付ける際、「片手がふさがっている状態でも、ボタン一つで食べたい量のご飯が選べる便利さ」が評価されています。ジャーのような蓋の開閉がなく、しゃもじも不要で衛生的。Fuwaricaは食の安心、安全を支える強い味方です。

フロントにある液晶パネルで、計量設定からエラー対応などの操作が可能。取扱説明書の紛失対策にも便利。

「Foodly」と当社の海苔巻きロボットを組み合わせ、人とロボットがともに働く未来を目指す一歩を踏み出しました。
食の安全、人の安全に配慮した製品で、人間が隣で作業をしていても安心です。また、キャスター付きなので移動もラクラク。愛嬌のある外見と動作で、オープンキッチンでの一般のお客様へのアピール度も見逃せないポイントです。

コロナ禍において省人化や衛生に対する意識が大きく変化した今、人手不足の解消、作業の軽減、衛生面の向上、感染症対策、省スペースなど、数多くのニーズに対応する人型協働ロボットの可能性を追求。外食・中食産業の現場に求められるさまざまな課題を解決すべく、積極的に取り組んでいきます。

コーポレート・ガバナンスの強化

執行役員制度の導入

取締役および取締役会の役割を経営方針の決定と経営の監督に集中させ、経営環境の変化に迅速かつ柔軟に対応。執行役員の業務執行の責任を明確化し、監督と執行の分離をはかることにより、ガバナンス体制を強化。

役員に対する譲渡制限付株式報酬制度の導入

当社の取締役（社外取締役を除く）に、企業価値の持続的な向上をはかるインセンティブを付与するとともに、株主の皆様との価値共有を進めることを目的として導入。

2021年6月29日以降の役員体制

役職名	氏　名
代表取締役社長	鈴木　美奈子
取締役　専務執行役員	谷口　徹
取締役（社外）	髙橋　正己
取締役（社外）	髙橋　昭夫
取締役（社外）	橋本　泰
常勤監査役（社外）	瀬川　和彦
監査役（社外）	宇佐　公興
監査役（社外）	村井　淳也
執行役員　営業本部長	中村　健司
執行役員　海外事業本部長	村瀬　康宏
執行役員　生産本部長	金井　敏男
執行役員　管理本部長	志賀　融
執行役員　経営企画部長	秋田　一徳

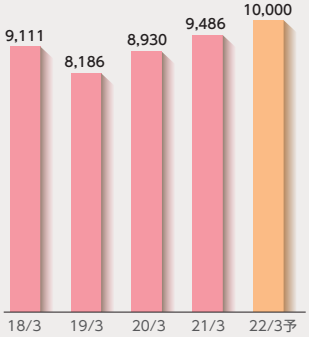
Financial highlights

財務ハイライト

売上高（単位：百万円）

9,486 百万円

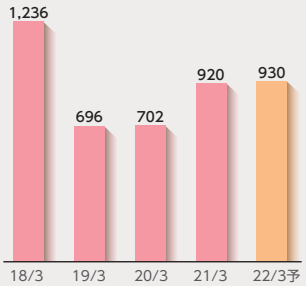
前期比 6.2%増



経常利益（単位：百万円）

920 百万円

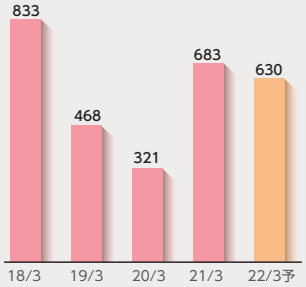
前期比 31.1%増



親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）

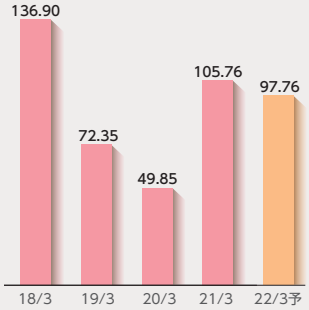
683 百万円

前期比 112.4%増



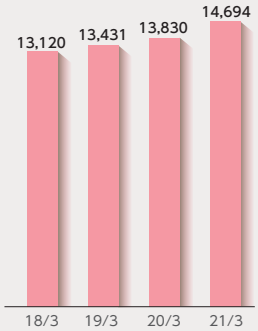
一株あたりの当期純利益（単位：円）

105.76 円



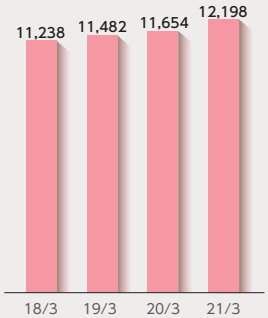
総資産（単位：百万円）

14,694 百万円

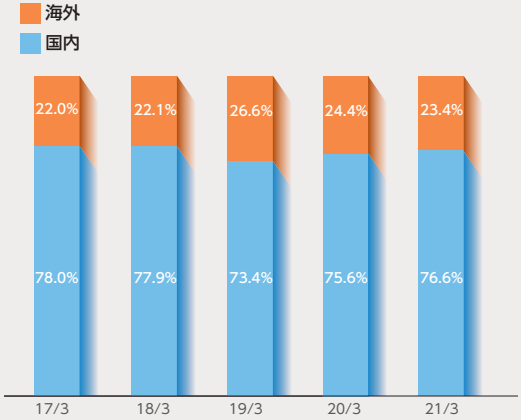


純資産（単位：百万円）

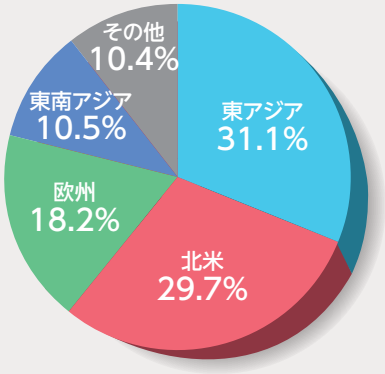
12,198 百万円



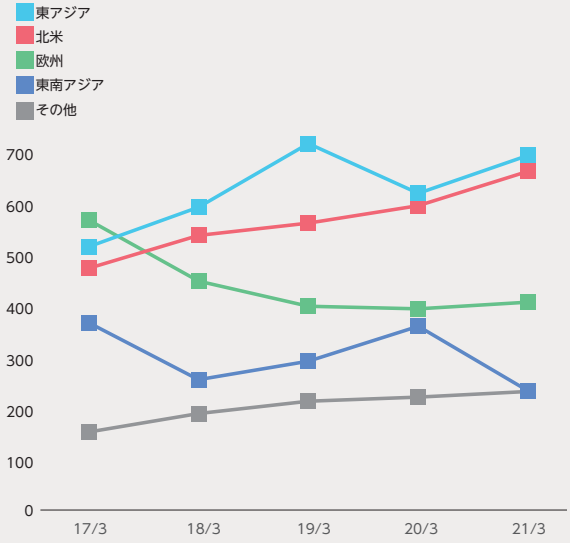
国内外の売上比率



海外の地域別売上高の割合



海外の地域別売上高の推移 (単位:百万円)



Overview of the consolidated financials statements

連結財務諸表（要約）

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対表

(単位：百万円)

科目	当期 2021.3.31現在	前期 2020.3.31現在
資産の部		
流動資産	10,568	9,753
現金及び預金	7,342	6,603
受取手形及び売掛金	1,321	1,256
電子記録債権	16	0
たな卸資産	1,801	1,808
その他	85	84
固定資産	4,125	4,076
資産合計	14,694	13,830
負債の部		
流動負債	1,382	1,110
固定負債	1,114	1,064
負債合計	2,496	2,175
純資産の部		
株主資本	12,246	11,722
その他の包括利益累計額	△62	△80
非支配株主持分	14	13
純資産合計	12,198	11,654
負債純資産合計	14,694	13,830

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期 2020.4.1～2021.3.31	前期 2019.4.1～20203.31
売上高	9,486	8,930
営業利益	919	765
経常利益	920	702
親会社株主に帰属する当期純利益	683	321

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期 2020.4.1～2021.3.31	前期 2019.4.1～2020.3.31
営業活動によるキャッシュ･フロー	1,245	660
投資活動によるキャッシュ･フロー	△ 344	△ 356
財務活動によるキャッシュ･フロー	△ 184	△ 275
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 21	△ 3
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	695	25
現金及び現金同等物の期首残高	6,603	6,503
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		75
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	43	
現金及び現金同等物の期末残高	7,342	6,603

会社概要 （2021年3月31日現在）

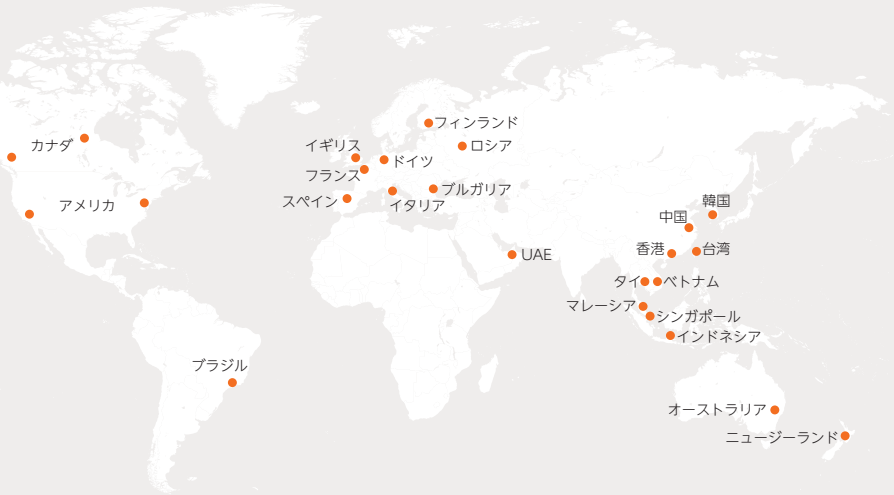
商　　号	鈴茂器工株式会社 （英文名：Suzumo Machinery Co., Ltd.）
設　　立	1961年1月13日
本　　社	東京都練馬区豊玉北2-23-2（〒176-0012） TEL.03-3993-1371(代)
資 本 金	11億54,418千円
事業内容	寿司ロボット、盛付けロボット等の米飯加工機械の製造・販売など
従業員数	401名（2021年3月末現在）
U R L	https://www.suzumo.co.jp/

国内拠点

取締役および監査役（2021年6月29日現在）

地　位	氏　名	担当および重要な兼職の状況
代表取締役社長	鈴木　美奈子	
取締役専務執行役員	谷　口　　徹	
社外取締役	髙 橋　正 己	株式会社ロイヤルメディカルクラブ　代表取締役社長／株式会社エコス　取締役
社外取締役	髙 橋　昭 夫	バイオマス・フューエル株式会社　社外取締役／株式会社 MTG　社外取締役
社外取締役	橋　本　　泰	京都きもの友禅株式会社　社外取締役／合同会社ブリッジパートナーズ　代表社員
常勤監査役	瀬 川　和 彦	
社外監査役	宇 佐　公 興	
社外監査役	村 井　淳 也	村井法律会計事務所　弁護士

海外ネットワーク



株式の状況

（2021年3月31日現在）

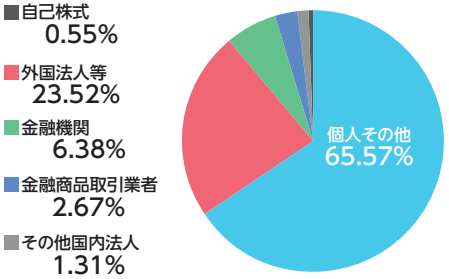
発行可能株式総数 ……16,000,000株
発行済株式総数 …… 6,480,000株
株主数 …… 2,298名
1単元の株式数 …… 100株

大株主

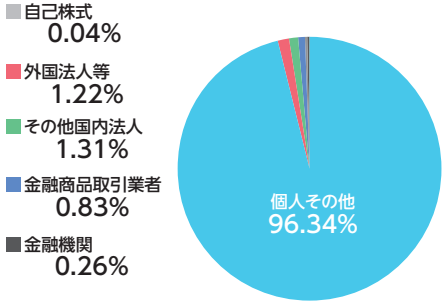
株主名	持株数	持株比率
鈴木　節子	1,300,240	20.18%
GULF JAPAN 1	867,300	13.46%
鈴木　美奈子	813,000	12.62%
鈴木　映子	813,000	12.62%
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE-HCR00	423,600	6.57%
鈴茂器工取引先持株会	297,040	4.61%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	145,800	2.26%
立花証券株式会社	120,100	1.86%
BNYM RE BNYMLB RE GPP CLIENT MONEY AND ASSETS AC	98,500	1.53%
株式会社日本カストディ銀行	95,800	1.49%

（注 1）持株比率は小数点以下第 3 位を四捨五入しております。
（注 2）持株比率は、自己株式（35,598 株）を控除して計算しております。

所有者別株式数



所有者別株主分布状況



株主メモ

事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで
基準日	3 月 31 日
定時株主総会	毎年 6 月
株主名簿管理人特別口座　口座管理機関	三菱 UFJ 信託銀行株式会社
同連絡先	三菱 UFJ 信託銀行株式会社　証券代行部 東京都府中市日鋼町 1-1 TEL　0120-232-711 郵送先 〒 137-8081 新東京郵便局私書箱第 29 号 三菱 UFJ 信託銀行株式会社　証券代行部
上場市場	東京証券取引所（ジャスダック市場）
公告方法	電子公告（https://www.suzumo.co.jp/ir/） （ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。）

●お知らせ
1. 各種お手続きに関するご注意
(1)株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
(2)配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは「配当金振込指定書」を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなっております。振込指定のお手続きにつきましては、詳しくは各口座管理機関にお問合せください。
(3)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
(4)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2. 期末配当金計算書について
配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「期末配当金受領証」により配当金をお受取りになられる株主様宛にも「期末配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認の資料としてご利用いただけます。

WE LOVE RICE SUZUMO 鈴茂器工株式会社
東京都練馬区豊玉北2-23-2（〒176-0012）　TEL：03-3993-1371(代)
URL：https://www.suzumo.co.jp/